

開講番号	月/日 Date	曜日 Time	題 目 Title	担当教員名 Lecturer	場所 Place	担当分野 Field of the Topics	備考	
25-30	1/22①	(木) 17:00 ~ 18:30	Society5.0時代における情報技術の医療への応用 Application of information technology to medicine in the Society 5.0 era	長宗高樹 兵庫県立大学大学院 工学研究科電子情報工学専攻 教授	対面/オンライン 大講義室、オンラインどちらでも受講可	整形外科学	参加URLは クラスルームに 記載予定。	
25-31	1/22②	(木) 18:30 ~ 20:00	ヒト骨髓内不均一性可視化への挑戦 Toward Visualizing the Cellular Heterogeneity of Human Bone Marrow	宮西 正憲 神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座 細胞医科学 教授	対面/オンライン 大講義室、オンラインどちらでも受講可	整形外科学	参加URLは クラスルームに 記載予定。	
25-18	1/23	(金) 18:00 ~ 19:30	診療情報・オミクスデータを活かすためのデータ駆動的アプローチ (Data-driven approach to leverage clinical information and omics data)	夏目やよい 医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター センター長	オンライン	AI・デジタルヘルス科学,デジタルノ ベーション推進センター協同開講	参加URLは クラスルームに 記載予定。	
神戸大学CMX創発医学講演会	2/4	(水) 17:30 ~ 19:00	教授の来日中止により開講さ れません	hondrial stress adaptation and T cell exhaustion	Ping-Chi Ho Lausanne大学 教授	対面/オンライン 大講義室、オンラインどちらでも受講可	恒常性生理学	参加URLは クラスルームに 記載予定。
25-26	2/6	(金) 17:30 ~ 19:00	膵管内腫瘍の画像診断 Imaging of pancreatic intraductal tumors	石神 康生 九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学分野 教授	対面/オンライン B講義室、オンラインどちらでも受講可	放射線医学	参加URLは クラスルームに 記載予定。	
25-19	2/9	(月) 18:00 ~ 19:30	抗悪性腫瘍に対する革新的新規医薬品の研究開発 Advanced research and development of innovative new drugs in oncology	多治見政臣 神戸大学大学院 医学研究科 AI・デジタルヘルス科学分野 非常勤講師	オンライン	AI・デジタルヘルス科学,デジタルノ ベーション推進センター協同開講	参加URLは クラスルームに 記載予定。	
25-33	2/10	(火) 17:30 ~ 19:00	認知症の画像診断－臨床・画像・病理連関の意義－ Imaging Diagnosis of Dementia: Significance of Clinico-radiologic-Pathologic Correlation	徳丸阿耶 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 放射線診断科 部長	対面/オンライン B講義室、オンラインどちらでも受講可	放射線医学	参加URLは クラスルームに 記載予定。	
神戸大学CMX創発医学講演会	3/24	(火) 17:00 ~ 18:30	イメージングが解き明かす関節の不思議 3D imaging of the synovium defines an immunological defence system at the blood- joint barrier	長谷川 哲雄 ケンブリッジ大学医学部 分子生物学研究所免疫学ユニット・グループリーダー	対面/オンライン A講義室,オンラインどちらでも受講可	免疫学分野	参加URLは クラスルームに 記載予定。	
神戸大学CMX創発医学講演会	3/27	(金) 17:30 ~ 19:00	フィロウイルス感染の分子基盤の解明 — 生体膜ダイナミクスに着目して Molecular Basis of Filovirus Infection — Insights into Host Cell Membrane Dynamics	南保 明日香 長崎大学 高度感染症研究センター ウイルス感染動態研究分野 教授	対面/オンライン 第二講堂(研究棟B),オンラインどちらでも受講可	臨床ウイルス学分野	参加URLは クラスルームに 記載予定。	

留意事項

授業への出席および小レポート(200字程度)や口頭試問等により総合的に評価し、講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を合格とする。

1単位につき10回の受講を必要とする。(年度をまたぐことができるものとする。)

レポート等の提出がない場合は、出席とみなしません。

◆重複履修を可能とする。但し同日の時間が重なるものは除く。